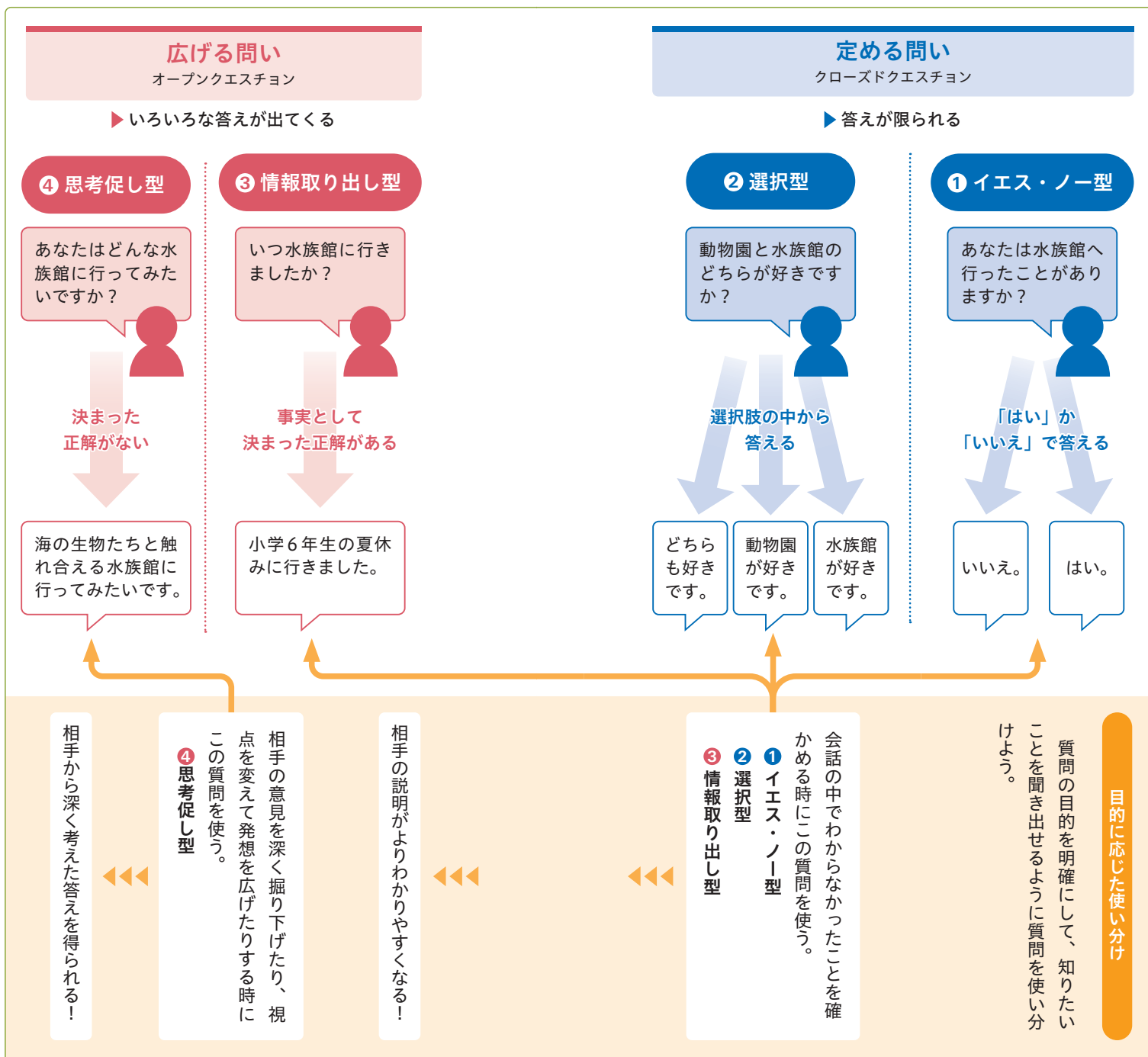


質問の仕方

質問は自分がわからないことを解決する手段というだけではない。的確な質問をすることで、相互理解が進み、コミュニケーションが活発になったり、思考が深まったりする。

質問は答えの内容によって、次の四種類に分けられます。



質問を重ねる時の工夫

インタビューのように、あらかじめいくつかの質問を用意していたり、相手の答えに対して新たな疑問をもったりした場合は、何度か質問を重ねていこう。この時に、相手が答えやすくなる工夫をすると、やりとりが充実したものになる。

例えば、「広げる問い」から始めるのではなく、「定める問い」から始めて「広げる問い」へつなげたほうが、多くの場合、

相手が答えやすくなる。

質問を重ねる時、「なぜですか」「それはなぜですか」と聞き方が単調になると、相手を問いつめているように聞こえるので注意が必要だ。相手の言葉を引用したり、言いかえたりすることで、単調な聞き方になるのを防ぐことができる。

相手が質問に答えている時は、興味をもって聞く。質問から広がるやりとりが、よりよい人間関係を築くことにつながる。